

令和2年度 第2回鶴岡公園環境整備懇談会（会議録）

○日 時 令和2年12月16日（水）午後1時30分～午後3時15分

○会 場 鶴岡市役所別棟2号館21・22・23号会議室

○出席委員 野堀 嘉裕委員（会長）、酒井 忠久委員（副会長）、
齋藤 善二委員（副会長）、小谷 卓委員、橋本 政之委員
植松 芳平委員、石原 純一委員、加賀山 捷三委員
白崎 喜美子委員、中村 哲也委員、伊藤 賢一委員

○欠席委員 戸村 昌也委員、上野 康成委員、砂山 隆司委員、佐藤 天哉委員

○事務局出席者

鶴岡市

建設部長 村上 良一、都市計画課長 岡部 信宏

都市計画課城下のまちづくり推進主幹 鈴木 英昭

教育委員会社会教育課文化財主幹 沼沢 紀恵

都市計画課公園緑地係長 本間 仁、公園緑地専門員 佐藤 勉

公園緑地専門員 亀井 博行、公園緑地係専門員 荒木 正行

○コンサル

アジア航測(株) 阿部 康二、大野 みさ子

○公開非公開 公開

○傍聴者 0名

○次 第

1. 開会

2. 挨拶 村上建設部長
野堀会長

3. 協議

1) 鶴岡公園正面広場整備計画について

2) 鶴岡公園桜等樹木の更新計画について

4. その他

1) 鶴岡公園内園路灯設置について

5. 閉会

会議概要

1. 開 会

- ・都市計画課 岡部課長による開会宣言
- ・資料の確認
- ・定数報告

過半数の出席を得ているため、会則第7条第2項により本会は成立するものとする。

2. 挨拶

- ・村上建設部長
- ・野堀会長

3. 協 議

議長：野堀会長

1) 鶴岡公園正面広場整備計画について

鶴岡市による「鶴岡公園正面広場整備計画について」の説明

【質疑応答】

〈委員〉

- ・イベント広場に関して、市民に気軽に利用しやすい広場であると感じられないが、賑わいがあってこそ正面広場なので、イメージ図にキッチンカーとか賑わいあるものを入れるなど、図の再検討をしてもらいたい。また、水飲み・手洗い場関係に関しても同じように、どの位置に設置されるか説明してほしい。
- ・桜が咲くころにぼんぼりが設置されるが、市民から募ったお金で設置している。この計画はぼんぼりを配置する配慮がなされているのかどうか確認したい。
- ・階段状広場を安全面から段差を15cmにしたと説明があったが、15cmの段差で人がベンチとして座るだろうか。ここも市民や観光客が座って賑わいが出てその空間だと思うため、部分的に座れるような段差を設けるなど、賑わい創出という目線での検討をしてもいいと思う。
- ・過去にお堀であったことを表現する舗装のアイデアとか、大宝館側の柵が無くなっていること等、前設計案から良い検討がされているところもある。
- ・外堀周辺道路について、タクシー乗り場のようなものを検討してほしいと以前意見を出したと思うが、最終的にどうなったか。

〈事務局〉

- ・水飲み手洗い場やキッチンカーなどの設備が今回のイメージ図には反映されていないが、これまでと同様に、水飲み・手洗い場やキッチンカーの乗り入れができるよ

うな設備を考えている。利用客やイベント時に対して使いやすい設備を検討している。

- ・桜の時期のぼんぼりについて、現在設置している状態を保てるようなものを実施設計の中でも検討していく。
- ・階段状広場については、様々な視点・意見をいただき、ベンチを設置することも検討したが、広く多様な使い方を考えているため、このような最終案となった。
- ・外堀周辺道路のタクシー乗り場については、今回示した整備イメージの中では、そちらの意見は反映していない。

《委員》

- ・イベント広場は市民がイベントを開きやすくなれば、それで良いと思う。実施設計の方でイメージ図にも反映してくれれば良いと考える。
- ・ぼんぼりについても、公園整備に併せて色々変えていくべきなのかと思うが、ひとまず設計の中で設置を検討しているのであれば問題ない。
- ・タクシー乗り場については検討をしていないという結果だが、市民や観光客もどこでタクシーを拾っていいか分からないという状況が多いので、あったほうが良いのではないか。

<事務局>

- ・ぼんぼりについては、外堀周辺の修景整備を行う中で、地面に取り付け器具などを設置する対応をしている。正面広場についてもこれまで通り簡単に設置できるように、関係団体と相談・検討しながら進めていく。
- ・階段状広場の段差については、今回いただいた意見を反映できるかどうか再度検討する。
- ・タクシー乗り場については以前からの課題ではあるが、大型バス用の現駐車広場を活用できないか、タクシー会社等と相談・協議を行い、一時的な乗り場等が可能かどうかなど、今後検討したいと思う。

《委員》

- ・二の丸の土塁再現について、現在も鶴岡公園内に土塁はいくつも残っているが、イメージ案のようにコンクリート擁壁で止めないといけないのだろうか。現在鶴岡公園にある土塁の再現ではコンクリート擁壁は用いていないが、構造的に不可能なのか。

<事務局>

- ・実際に土を盛るということから、コンクリート擁壁は必要となる。また、これは二の丸の断面を見せる場所という位置づけが基本計画から方針付けされていたため、このようなイメージ案に至った。

《会長》

- ・元設計では、板塀まで含めて歴史再現をするという案だったが、これを変更しコンクリートだけにする案にしたと理解している。歴史再現が薄くなってしまうと懸念されるが、コンクリート擁壁部を急傾斜の土塁に変更することはできないか。

《石原委員》

- ・コンクリートを選定した理由は崩れないようにしているためなのか、それとも断面を見せるためにしたのか教えて欲しい。

＜事務局＞

- ・コンクリートを選定した理由は、前回検討された土塁があったことを記した案内版を設置するという歴史再現を、見た目で見えるように表現し、再検討したものである。二の丸があったことを表現し、断面を見せるために今回の検討案に至った。従来の鶴岡公園の整備方針からすると逸脱する部分もあるように思われるが、階段状広場のようなウッドデッキがあるなどの新しい試みが検討されていることや、自然由来の石・木などの要素を含みながら新しい素材が使用されることから、新しい鶴岡公園の雰囲気を作ろうという考えに至った。なお、今回いただいた意見から再検討をし、より良い実施設計を作っていく。

《会長》

- ・前設計案の二の丸の説明を記した案内板について、このコンクリート擁壁は書き込めるパネルとしての要素があるため、説明文や案内板をつけたり、書き込んだりするには良い場所だと思う。そういった用途でコンクリート擁壁をうまく活用すれば、ここに大きく平らな壁がある意味にもなると思われる。

《委員》

- ・土塁再現に関連して、前設計案の石垣を再現したモニュメントは、最終的に無くすということか確認したい。

＜事務局＞

- ・無くす方向で考えている。

《委員》

- ・先ほどの説明の通り、二の丸の断面を見せ、かつての歴史を感じてもらおうという意味では、非常に良いと思う。しかし、擁壁を石垣としてしまうと歴史の事実と異なる理解をされてしまうのは非常に良くないため、コンクリート擁壁に案内板や説明を記し、市民などに説明するパネルとして活用する案は必要だと思う。
- ・現在、各公園の設計方針が、防災時の公園利活用が注目されているが、その観点が今回の設計案には無い気がする。例えば、ベンチが防災グッズの入れものになると

か、災害時にかまどとして活用ができるようにするとか。お金をかけずできる災害時の施設としての位置づけを追加することも、他自治体の公園の設計方針を見ると必要だと思う。このように公園としての機能とは異なる別の要素が入ると、今回の計画にも市民からの支持がより多く得られ、利用者も増えると思う。

- ・高山樗牛像移設の件だが、この人は鶴岡の大文学者なので、大宝館の近くや荘内神社への散策路にある方が非常に自然だと思う。

《委員》

- ・周辺道路のベンチについて、あまり休憩するイメージはないが、利用者の多い公園内に設置したほうが良いのではないか。

《委員》

- ・周辺道路の舗装や側溝は、南校の前が広がって非常に良いとは思いますが、道路に中心線がないため、これは一方通行なのか確認がしたい。
- ・車止めについては、見えにくいと車をぶつけそうだという意見があり、これは本当に必要なかどうか。

<事務局>

- ・ベンチについて、ワークショップでも同様な意見があったが、今回の整備にあたり堀側の幅が広くなり、外側から堀を眺めやすくなるということから、ベンチの設置検討に至った。しかし、数についてはワークショップを踏まえ最低数を検討している。
- ・車止めについて、以前まで車止めが無いことにより歩道と車道の境目が分からないということもあり、県警察との協議から必要であるという結果に至った。
- ・通行に関しては、一方通行ではなく現状のまま対面通行となる。
- ・中心線については、基本的にはもう少し広い道路となれば設置されるが、仮に線を引くと2m幅の車道となってしまうため、大きめの車が通れなくなってしまい、安全性の観点から引いていない。

《委員》

- ・金峯石をただ活用するのではなくて、どこから持ち出されたか、利用されていたのか、いつ使われていたのかなど、いつ運び出されたか、くさびの跡で判明できるため、400年の歴史がある価値をもっと確かめる必要があると思う。

<事務局>

- ・金峯石がお城に運ばれたといういわれがあるが、くさびの跡で時代が判ることは、その歴史を裏付ける資料となることから、是非この機会に調査して歴史を伝える機会になればと思う。

《委員》

- ・公園周辺道路の歩道について、当初片側歩道だったと思うが、どのような経緯や考えでこのような構造・整備イメージになったか教えて欲しい。
- ・整備方針に「歴史の痕跡を」とあるが、「痕跡」という語感があまりよろしくないのではと感じる。「城下の歴史を感じ取れる」などの表現がいいのではないかと思う。

<事務局>

- ・道路については、電柱をなくし、歩行者の安全のため、外堀側の歩道を拡げる計画だったが、ワークショップで通学時に学校側を歩くことが多いという意見もあり、両側に歩道を確保するに至った。
- ・制限速度についても、今まで通り時速30キロで、両側に標識も設置する予定である。
- ・一方通行については、住宅街の道路ということもあり、日中の利用の面やどちらかの交差点の混雑が予想されることから、一方通行は容易ではないという検討に至った。
- ・車止めは、冬場取り外すことも可能な設計としているためご理解いただきたい。

《委員》

- ・周辺道路の舗装について、このような事例は鶴岡市には無いから良いと思う。

《委員》

- ・周辺道路のベンチについて、金峯石であれば背もたれが無く、委員内でも意見が割れると思うが、桜の時期などお堀を隔てて公園を眺めるなど、風景として良いと思う。
- ・歴史再現の二の丸断面だが、歴史再現という割には非常にモダンな感じがする。例えば、石積み風ではなく、より古風な本物の石積みにするのはどうだろうか。

<事務局>

- ・歴史再現については一つの案として出しているため、今後も検討する。
- ・ベンチについても、設置場所をよく検討し、事故が発生しないような場所を検討する。

《委員》

- ・ワークショップで提示された歴史再現のイメージ図に色々意見を出したが、全体的に再検討されたイメージは洗練され、良いと思う。案内板の活用なども検討してほしいと思う。
- ・ワークショップ時には無かったが、お堀の水を表現するイメージ舗装は大変いい案だと思う。

《会長》

- ・公園整備の園路のイメージ舗装の写真はあくまで参考例か。

＜事務局＞

- ・あくまでも例であり、お堀を表現するイメージとして提示した。

《委員》

- ・周辺道路のベンチは、工業・南高間の堀端から金峯山が見られるという説明をしてくれば皆理解すると思う。
- ・正面広場という名称はどうするのか。

＜事務局＞

- ・正面広場という名称は、度々意見をもらっていたが、現状は業務上で正面広場と呼んでいるが、歴史的な意味合いなど調べ検討し、皆様にお示ししたい。

《委員》

- ・高山樗牛像の移設先について、色々な意見があったと思うが、現在のバス駐車場の移設先は、バスの中や道路上でガイドされると、それで終わってしまうのではないか。やはり公園の中に入った所にあったほうが公園内の散策者も増えるので良いと思う。

＜事務局＞

- ・移設先については、再度検討し、最終案を決定する。

2) 鶴岡公園桜等樹木の更新計画について

鶴岡市による「桜等樹木の更新計画について」の説明

【質疑応答】

《委員》

- ・鶴岡公園のなかにはたくさんの種類の桜があるが、桜の種類が判定できる案内版や表記はあるのかどうか。あった方が多くの桜があるという理解ができるからぜひ検討してほしい。

＜事務局＞

- ・桜の表記やプレートについては今後検討する。

《委員》

- ・鶴岡公園には何本の桜があるのか。

＜事務局＞

- ・北ブロックと南ブロック合わせて724本である。今回の更新計画は北ブロックの522本についての計画となっている。

《会長》

- ・現在522本中、総合判定B2～C劣化の激しいものが48本とあり、約1割が危険な桜があるということだが、これを令和3～4年の約2年で処理しようということなのか。全体数からみると約15本ずつという早いペースで処理していくのか。あまり早いペースであると、公園の姿が変わってしまうと危惧している。

＜事務局＞

- ・令和12年までにAからJまでの全エリアで48本伐採する計画となっている。

《委員》

- ・桜の時期に、鶴岡公園とその周辺を歩いていて、酒井家庭園の桜がとても綺麗だった。そこでも、桜について種類を聞かれ、市民は身近にある桜の種類や歴史などについて知りたがっていると気づいた。鶴岡公園の桜整備だけでなく周辺への広がりなど大きなエリア一帯で考えるべきなのではと思い、すぐではなくとも考えて欲しいと思う。

進行：事務局へ

4. その他

1) 鶴岡公園内園路灯の設置について

鶴岡市による「鶴岡公園内園路灯の設置について」の説明

《委員》

- ・防犯カメラの設置を呼び掛けているという噂を聞いたが、鶴岡公園内に防犯用のカメラというものはあるのか。

＜事務局＞

- ・公園内の防犯カメラは、荘内神社に向かい参道右側、鳥居の周辺に1基設置されている。

《委員》

- ・荘内神社には4つを防犯上のため設置してある。

《委員》

- ・先ほど防災の話もあったが、公園内の整備として防犯が計画内にテーマとして入っているか。防犯カメラは必要であると思う。

＜事務局＞

- ・防犯カメラは各団体から寄贈を受けた際、場所を指定していただき設置してきた。鶴岡公園内には、現時点では設置する予定はないが、今後必要性があるという意見が多く出たら検討する。

5. 閉 会

都市計画課長による閉会宣言